

商材や機材一堂に

サンビーが印章店向けフェア

クイックC9の新製品も

サンビー株式会社(山本忠利社長、大阪市)は、5月11、12日に大阪市天王寺区のホテルアウイナでおおさかで、印章店向けの展示会「サンビースプリングフェア」を開催、西日本エリアの印章店89社が来場、活発な商談を展開した。



販わフェアの会場

会場は機材・印鑑ケースと、印材の2つの会場に分け、印材の会場では同社の印鑑関連の新商材やお奨め文具も紹介した。

同社の印鑑関連新商材のコーナーでは、ワンランク上のキャップレスネーム印「Quick C9 C AMILA(クイックシーナイン カミラ)」の新色、100周年を記念した特別印章「みちてらす伊勢清水みちてらす」を紹介。「みちてらす」は、親子の絆をひと押しする印鑑として、印材、捺し心地、手彫りなど細部にこだわり尽くした。「クイックC9カミラ」はコスメティックなデザイン&カラーが女性に好評。新色は「朝の色の空」をイメージしたトレンドのカラー4色で展開。

お奨めの文具紹介コーナーでは、紀寺商事の「ペーパーボックス」など、印章店の売場との親和性が高いトレンドの文具を提案。機材と印鑑のブースでは、インクが入っているゴム印、名刺専用のアタッチメントを搭載したA4フル

佐野健一氏が栄誉

大阪府産業功労賞を受賞

大阪府は、5月3日の憲法記念日に合わせ、府政の振興に顕著な功績のあった個人若しくは団体、または篤行が特にすぐれ、府民の模範となる個人を善行者、産業功労者、公共関係功労者として知事表彰しているが、業界からは産業功労者として佐野健一氏(大阪文



表彰を受けた佐野健一氏

カラーLEDプリンター、少量・多品種の箔印刷に対応した箔プリンター、グッ

中小企業のDX化意識調査

シヤチハタが実施

シヤチハタ株式会社(舟橋正剛社長、名古屋市)は、中小企業の経営者ならびに決裁者(個人事業主は除く)計500人を対象に、インターネットによる「中小企業のDX化推進に対する意識調査」を2023年12月5日~6日に実施したが、このほどその結果を発表した。

それによると、中小企業のDX化における現状については、全社的にDX化に取り組んでいない中小企業は約76%で、また中小企業のDX化は進んでいないのが現状。

中小企業のDX化に対する理解がイメージについては、約7割の中小企業の経営者ならびに決裁者が「DX化」と「IT化」の違いを明確に理解していないと回答。

DX化に対するイメージ

ズビジネスのスタートアップに最適なフラットヘッドUVプリンターなど、市場

TOP3は、1位「ハードルが高い(75.4%)」、2位「アナログな企業には難しい(71.8%)」、3位「自社には苦手な分野だと思っ(64.2%)」。

DX化についてあまり詳しく理解していないが、DX化に対する苦手意識を少なからず抱いている傾向にあることが判明。

中小企業のDX化に対する意向については、全社的にDX化に取り組んでいない中小企業の経営者ならび



業界にあつては、平成17年5月に大阪文具事務用品協同組合理事に就任して以来、組合事業に積極的に参加し、誠実に人望も厚い。同20年9月に専務理事、同21年5月より副理事長を務めてからは、事務用品の拡販のためのキャンペーン等、積極的な取り組みを図り、賛助・特別会員との友好関係を築き、組合員研修の充実化に努めた。また、将来を見据えて、若手組合員の意見や提案を汲み上げ、その育成にも力を注ぎ、組合活性化に大きく貢献している。

トレンドに対応した加工サービス機材を、実績を交えて紹介した。

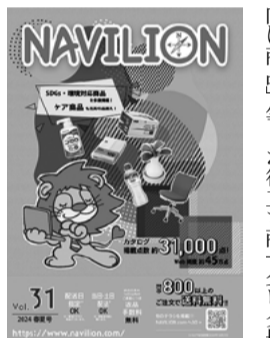
DX化が進まない理由の1位は「コストがかかる」、続いて2位が「デジタルのわかる社員や若手がいない」、3位が「従業員の高齢化」となった。「シヤチハタ株式会社調べ」

ナビリオンカ タログ31を発売

ナビリオン事務器

株式会社ライオン事務器は、通販「ナビリオン(NAVILION)」の最新刊「ナビリオン・カタログVol.31」を発売した。巻頭特集では、様々な利用シーンに応じたおすすめアイテムをピックアップして紹介。オフィスに手軽に植物デザインを取り入れられる「バイオフィリックデザイン商品」特集のほか、「ギグズスペース向け商品」、「観光施設・ホテル向け商品」等、お役立ち商品も掲載した。

また、前号に引き続きWebから閲覧できるデジタルカタログを発行した。カタログ冊子が手元になくても閲覧できるため、より便利に利用できる。問い合わせは、ナビリオン・コールセンター01



発刊したカタログ

は、問い合わせは、ナビリオン・コールセンター01

サクラクレパス相談役

西村四郎氏が逝去

西村四郎氏(株式会社サクラクレパス相談役)は、4月26日早朝、逝去した。享年100歳。

通夜は5月7日、葬儀は8日にそれぞれ東京都品川区の桐ヶ谷斎場で、西村家並びにサクラクレパスの合同葬で執り行われ、親族知人をはじめ業界関係者も多数参列、故人の遺徳を偲んだ。



故西村四郎氏の合同葬

DX化が進まない理由の1位は「コストがかかる」、続いて2位が「デジタルのわかる社員や若手がいない」、3位が「従業員の高齢化」となった。「シヤチハタ株式会社調べ」

品を多数掲載した。また、定番掲載品の「メーカー直送オフィスファン」は、新商品を追加してより一層の充実を図った。コンパクトながら、体圧分散仕様の座面で安定感のある「LEOコンパクトチェア」や、リフレットシェア&コミュニケーションスペースに最適な「ELANSA木製カフェカウンター」等、オフィスの利便性を高めるアイテムを新規に取扱います。

また、前号に引き続きWebから閲覧できるデジタルカタログを発行した。カタログ冊子が手元になくても閲覧できるため、より便利に利用できる。問い合わせは、ナビリオン・コールセンター01

また、前号に引き続きWebから閲覧できるデジタルカタログを発行した。カタログ冊子が手元になくても閲覧できるため、より便利に利用できる。問い合わせは、ナビリオン・コールセンター01

また、前号に引き続きWebから閲覧できるデジタルカタログを発行した。カタログ冊子が手元になくても閲覧できるため、より便利に利用できる。問い合わせは、ナビリオン・コールセンター01

また、前号に引き続きWebから閲覧できるデジタルカタログを発行した。カタログ冊子が手元になくても閲覧できるため、より便利に利用できる。問い合わせは、ナビリオン・コールセンター01

また、前号に引き続きWebから閲覧できるデジタルカタログを発行した。カタログ冊子が手元になくても閲覧できるため、より便利に利用できる。問い合わせは、ナビリオン・コールセンター01

また、前号に引き続きWebから閲覧できるデジタルカタログを発行した。カタログ冊子が手元になくても閲覧できるため、より便利に利用できる。問い合わせは、ナビリオン・コールセンター01

また、前号に引き続きWebから閲覧できるデジタルカタログを発行した。カタログ冊子が手元になくても閲覧できるため、より便利に利用できる。問い合わせは、ナビリオン・コールセンター01

旬の花山椒 鍋を楽しむ

大紙工業第296回歩み大会

大阪紙製品工業会(黒田章裕会長)は、「第296回歩み大会」を、5月11日に滋賀県大津市の山の辺の里レストラン「比良山荘」で開催した。

当日は会員及び特別会員合わせて11人が参加。開宴に先立ち黒田会長が、当日の料理のうんちくを披露しながら挨拶し、新生紙パルプ商社・中山和久大阪支店長の乾杯の音頭で開宴。花山椒の季節だけの特別の鍋「花山椒鍋」に舌鼓を打ちながら、和気藹々に歓談、親睦を深めた。



歩み大会の参加者

葬儀委員長はサクラクレパスホールディングス社長の西村貞一氏が務めた。故人は大正14年5月5日生まれ。昭和23年3月同志社大学法学部卒業後、同23年4月にクレパス本舗株式会社桜商會(現サクラクレパス)入社、同33年5月取締役、同38年3月常務取締役、同47年1月株式会社サクラクレパス専務取締役、同51年4月東京支社長、同56年2月代表取締役副社長、同60年11月取締役相談役、平成12年12月相談役に就任。長年にわたり社業の発展とブランドの確立に尽力した。

KOKUYO

貼るって、こんなに変わる。

GLOC